

## 課題

- 地域住民の重要な交通の足である上毛電気鉄道について、原則紙チケットの利用になっているため、ODデータが取得できず、行動分析ができない
- 行動分析ができないため、交通計画等で適切な計画を立てるのが困難

## プロジェクト概要

[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)]

- GunMaaSを活用し、上毛電気鉄道でのデジタルチケットサービスを構築する。具体的には、上毛電気鉄道の車両等に交通系ICユニットを搭載し、交通系ICカードでの決済・認証サービスを実現できる。ODデータ及び属性情報の取得が可能となるため、IC企画券の造成や割引属性の対象等を検討する上でのデータを取得できる。
- 交通系ICユニットは地域連携バスユニットを採用することで、自動改札機と比べて安価な仕組みでサービスを実装する。

[モビリティ・データの取得と活用]

- 上毛電気鉄道の交通系IC認証実績をID-PORTに蓄積する機能を構築する。当該実績を踏まえ、今後の割引率等、サービス内容のブラッシュアップを検討する。さらに、持続可能な公共交通社会の構築に向け、例えば特定居住地や年齢に応じた運賃の助成割引など、鉄道利用の活性化についても検討する。

[地域交通政策等との連携]

- 上毛電気鉄道のODデータを分析し、結果を交通計画の評価に生かすことを検討する。
- 真に助成を必要とする市民に交通助成サービスを楽しむ仕組みを構築し、公共交通利用機会の創出を図ると同時に、手法をデジタル化することで事務負担軽減とデータ取得環境構築を図る。

## 効果

- 上毛電気鉄道で紙チケットを購入する必要がなくなるため、利用者の利便性が高まる。
- 交通の利用実績が見える化されるため、将来の効果的な交通再編に寄与できる。
- 割引施策遂行にかかる事務負担が軽減され、時間効率が向上する。

## 事業の新規性

- 地域連携バスユニットを鉄道車両に設置した事例は他にないため、新規性が高い。
- 地域の路線バスにも地域連携バスユニットが導入されているため、将来的に鉄道とバスが一体となったサービスの構築も検討可能と考えている。

## 事業エリア/交通事業

事業エリア:前橋市  
鉄道:上毛電気鉄道

## MaaSアプリ等

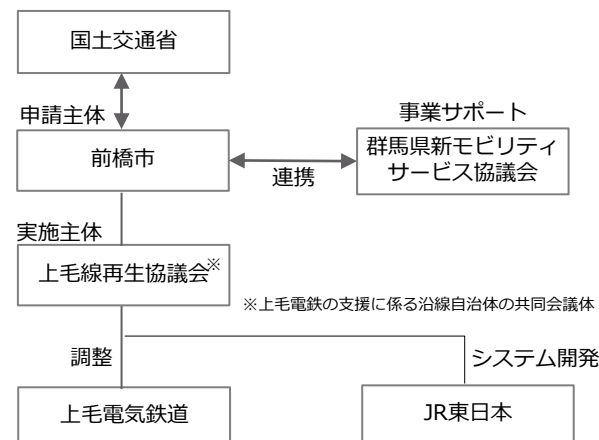
- MaaSプラットフォーム:モビリティ・リンケージ・プラットフォーム(JR東日本のプラットフォーム)
- フロントエンド:GunMaaSWebを改修
- マイナンバーカード認証:mytap(TOPICが運営する本人認証アプリ)
- 経路検索機能:mixway API(ヴァル研究所の経路検索API)
- ダッシュボードシステム:Google Looker Studio

## データの活用等

- データの取得方法:GunMaaS会員の交通系ICカード認証によるODデータ取得(認証端末からID-PORTへODデータ通知)
- データの活用方法:ODデータをLooker Studio上で可視化し、今後の交通計画に活用

## 座組

## スケジュール



4～6月 要件定義

7～10月 事業者間調整

8～12月 システム開発

1月～ サービス提供